

令和元年第 29 回「中村元東方学術賞」授賞式
令和元年 10 月 10 日 インド大使館講堂
第 29 回中村元東方学術賞審査委員会報告

この度の選考に際しましては、中村元東方学術賞審査委員会では慎重審議の結果、第 29 回の中村元東方学術賞を村上真完東北大学名誉教授と及川真介日蓮仏教研究所長に授与することに決定致しました。授賞理由は以下の通りであります。

授賞理由

村上真完博士は、1932 (昭和 7) 年、青森県津軽市のお生まれで、1953 年に東北大学文学部に入学し、1957 年にインド学仏教史専攻を卒業、大学院修士課程に進み、1959 年 3 月に文学修士となり、翌月に博士課程に進学し、1963 年 3 月に博士課程の単位を修得し満期退学されました。

東北大学では、羽田野伯猷先生からサンスクリット語を学び、後にチベット語を学ばれました。在学中は主に原始仏教を研究しながら、金倉圓照先生から印度哲学の原典を学び、山田龍城先生から仏教の経論やシルヴァン・レヴィ (Sylvain Lévi) のインド仏教文化史に関するフランス文の講読を受けられました。非常勤講師として来られた中村元先生からは、シャンカラの『ブラフマストトラ注解』 (*Brahmasūtrabhāṣya*) の講読を受けられました。

1963 年 4 月に八戸工業高等専門学校に赴任して、英語やドイツ語を教えながら、仏教梵語とチベット語訳経典を研究し、非常勤講師として東北大学でパーリ語を教え、1969 年 11 月に東北大学に赴任後は、印度哲学研究に専念し、サーンキヤ哲学研究で文学博士の学位を得、印度哲学を広く研究されました。

他方、及川真介博士は、奇しくも村上真完博士と同じく 1932 (昭和 7) 年、東京に生まれ、1957 (昭和 32) 年東北大学文学部印度学仏教史専攻を卒業し、1961 (昭和 36) 年東京大学人文科学研究科修士課程印度哲学専攻修了、立正大学でパーリ語と英語の講師に就任、スリランカの僧院における研究活動を経てパーリ語仏典の研究を重ねられました。1985 年常圓寺副住職に就任、1998 年文学博士号を取得されました。

村上真完・及川真介両博士の強力な協力のもと、村上真完・及川真介共訳註『仏のことば註 パラマッタ・ジョーティカー』第 1 巻が春秋社から出版さ

れたのは1985(昭和60)年で、それが全4巻として完成したのは3年後の1989年でした。その後も研鑽を重ねられ、2009年9月20日、その全4巻が2441頁からなる浩瀚な村上真完・及川真介共著『パーリ仏教辞典』(仏のことば註——パラマッタ・ジョーティカー——付篇 パーリ聖典スッタ・ニパータ註索引・辞典)として出版されました。

実に四半世紀にわたるこのお二人の協力の結晶は、今や原始仏教研究者には不可欠な辞典であります。既刊の辞書 (*Childers: Dictionary of the Pali Language*, 1875; *The Pali Text Society's Pali English Dictionary*, 1921-25; *Critical Pali Dictionary*, begun by V. Trenckner...1924-97; 雲井昭善『巴和小辞典』; 水野弘元『パーリ語辞典』) から洩れた語彙や既刊の辞書では理解できない語彙をも含んでいるばかりではなく、用例の豊富な辞典となっております。例えば多義な *dhamma* は、20頁にわたり、まずその全貌を示し、著名な Magdalene u. Wilhelm Geiger, *Pali Dhamma* (Munche 1920) の無理な分類や解釈を退け、*dhamma* の意味を12種に分類し、用例が示されています。本辞典は原始仏教研究にとっては、ひいては仏教研究にとっては画期的な貢献であります。

本辞典の完成には、その基礎となった共訳註『仏のことば註 パラマッタ・ジョーティカー』に対して翻訳文化賞を贈られた中村元先生もさぞお喜びの事と推察し、村上真完・及川真介両博士が中村元東方学術賞に相応しいと判断し、令和元年度の授賞者と決定した次第であります。